

昭和26年11月16日に横浜で産声をあげる。幼少のときに茅ヶ崎市に転居。貧しい家庭ではあったが、茅ヶ崎海岸を遊び場に腕白に育ち、茅ヶ崎小学校、茅ヶ崎第一中学校を卒業。昭和42年、高校入試につまずくも、相洋高校に入学し、3年間で、牛乳配達をしながら学業費用をまかなう。早朝の牛乳配達には辛いものがあったが、やり遂げた自信は、その後の心の糧(かて)となった。

昭和45年、家庭の事情により大学進学を断念し、小田原市役所に奉職、社会人としての人生が始まる。

昭和56年、結婚を契機に茅ヶ崎から小田原市栢山に転居。翌年に一人娘が生まれる。

平成6年、念願の新居を小台に構える。小さなアパート住まいを続けていた母親が、自分の部屋で嬉し涙を流していたことが今でも忘れられない。思えば唯一の親孝行だったのかもしれない。

平成24年、小田原市役所を定年退職。在職中は文化交流課長・産業政策課長・環境部次長・公営事業部長・市議会議務局長など18のセクションで、市民の方々と良き上司と仲間を支えられながら、悔いのない市役所人生を送る。

平成25年から小台自治会長、富水地区社会福祉協議会副会長を、翌26年からは小田原水泳協会理事長として、微力ながら地域社会活動に傾注。

そして今、二宮尊徳翁「徳を以て徳に報いる」の教えを胸に、さまざまな方々から授かった「徳」(取りえ、持ち味、おかげなど)を生かして、社会へのお返しを果たすため、新たな行動のスタートをきる。

主な地域活動

- 富水地区社会福祉協議会副会長
- 富水地区まちづくり委員会広報分科会委員
- 前小台自治会長
- 小田原水泳協会理事長(公認 水泳指導管理士)
- 青少年バドミントンクラブ HSBA代表 (日本バドミントン協会 公認コーチ)

小田原を思う

あなたの声を聞かせてください

市民の皆さんから

私へ

私から

市民の皆さんへ

出向いて・聞いて・つなげて解決

日常生活や地域・社会活動などで困ったこと分からないことがあれば、直接出向いてお話をお聞きします。お聞きしたことは、市民の立場になって考え行動し、市政につなげて解決していきます。

話して・聞いて・つなげてまちづくり

まちづくりの方向性や方法を分かりやすくお話し(説明)し、皆さんの考えや思いをお聞きします。お聞きしたことは、しっかり市政につなげてまちづくりに生かします。

私の信念

- 市民の幸せ実現を行動の原点とします。
- 市民の切実な声を市政にぶつけます。
- そこにある身近な問題を解決するために直ちに行動します。
- 約束したことの取り組みの経過・結果を必ず報告します。
- しがらみのない市民派・無党派で行動します。

しのはら 弘 後援会事務所

〒250-0858 小田原市小台322-5

TEL&FAX 0465-37-4381

みな しみんはいちばん

討議資料

しのはら弘

篠原ひろし

未来をみつめ
明日をつくる

市民の声が羅針盤